

2019 年活動報告 —市民ネットワークは、福祉・子育て・環境・まちづくりなどの地域の課題解決に向けて活動しています—



☆エレベーターでホームに降り、スロープ板を使い、車いすで列車に乗り込んでみました。

バリアフリーのまちづくりを やさしさ点検ツアー

☆JR 北広島駅やその周辺が、誰にとっても使いやすいものになっているが、車いすやシルバーカー、ベビーカーなどで、歩いてみました。駅周辺の歩道の段差や点字ブロックなどをチェックしました。市外からの参加者から「エルフィンロードへ出る出口の案内表示が見つからない」と指摘があり、市内住人は使い慣れてしまって見落としていたことに気づきました。駅周辺はボールパークへの玄関口となります。バリアフリーの観点や見やすい案内表示など、人にやさしいものになるよう求めていきます。



☆園長の井内聖さんから「幼い頃にとことん遊ぶことで生きる力が身につく」「子どもの『やりたい』を尊重する」等を伺いました。

～暮らしの中に学びがある～
はやくた子ども園(安平町)

☆全道初の公私連携・幼保連携型認定こども園「はやくた子ども園」を見学してきました。子育て支援センターや放課後児童クラブと一体となった児童福祉複合施設で、町外からも多くの園児が通園しています。広い園庭には水田があり、馬や二つトリも飼育され、自然体験を重視した活動をしています。



10/12

全国ひきこもり家族連合会・実践交流研修会
KHJ 全国大会 in 北海道

☆ひきこもりの当事者や家族が安心して相談できるしくみづくり、生きる力を育む地域共生社会に向けて議論する全国大会に参加しました。全国各地から、支援者、医師、議員等が参加し、相談体制や居場所づくり、社会参加等について、家族会や実践者の方々と学ぶ機会となりました。(札幌市)

「防災 de おしゃべりカフェ」を開催



会場:おむすび cafe 粒

☆防災グッズを持ち寄り、1年前の地震を思い出しながら意見交換をしました。2020 年度の予算要望ワークショップでは「学童クラブの環境整備」「介護保険制度縮小への不安」「災害時のペットとの避難」等の提案がありました。



9/13, 14

プレーリーダー養成講座

☆北広島でプレーパーク(冒険遊び場)を実践している市民団体主催の「プレーリーダー養成講座」に参加。プレーリーダーとは子どもの「やってみよう」を引き出し、いきいきと遊ぶことのできる環境をつくる人です。日本冒険遊び場づくり協会の中村俊一さんを講師に、子どもを取りまく環境の変化、子どもの権利などについて学びました。子どもがあらのままであられる居場所の重要性が増す中、プレーパークを広げていく必要があります。(2020 年 1 月、冬の講座を開催予定)



☆養成講座 2 日目は、緑葉公園での実践。木と木をロープでつないで道具をつくりました。

ボールパーク・アクセス
道路建設予定地
の自然を観察



☆ボールパーク・アクセス道路の整備に合わせ、その周辺が特別天然記念物野幌原始林に追加指定されることを知り、改めて現地を視察しました。参加者からは、各所につけられたピンクの紐の伐採の目印に、「森の形状がどのように変わってしまうのか」「貴重な動植物の生態系が守られるのか」と不安の声があがりました。



8/24

鶴谷さとみと佐々木ゆりかの視察報告

「放射線副読本」の自主回収について

野洲市

文部科学省が作成し、学校へ直接送付された「放射線副読本」。野洲市の田中陽介市議は2019年3月、「自然放射能と人工放射能は全く違う。副読本ではそれを同列に扱い安全性を強調」と一般質問。野洲市が放射線副読本を回収するきっかけを作りました。また、回収には市長の「副読本には原爆や第五福竜丸の記述がない」との問題意識も反映されていることがわかりました。

ホタルが生ずる河川環境づくり 守山市

「碧いびわ湖」の活動の原点は、琵琶湖のせっけん運動。身近な人と力を活かしながら自治を大切にしています。守山市中心市街地活性化計画(第2期)の取り組みとして、小学校前の親水緑地をフィールドに2016年1月スタート。高校、小学校、まちづくり会社、専門家、行政、子どもや若い世代の参加など、関係する多様な人々との情報共有や協力関係づくりのコーディネートとして重要な役割を担っています。



NPO 法人 こどもソーシャルワークセンター 大津市

センターでは、困難な生活環境にある子どもや若者を対象とした、子どもの学習支援事業「トワイライトステイ」、日中を過ごす第三の居場所「ほっとるーむ」、仕事に就く若者のための中間就労事業等、さまざまな支援事業が行われています。理事長の幸重忠孝さんは、「法整備により相談窓口や専門機関は整備されてきているが、制度の狭間にいる子どもがまだまだ多くいる」と、関係団体とのネットワークづくりに力を入れ、滋賀県初の高校内居場所カフェをオープンしました。



- 11/12 滋賀県 野洲(やす)市
- 11/13 守山市 NPO 法人「碧いびわ湖」
大津市 NPO 法人「こどもソーシャルワークセンター」
- 11/14 兵庫県 神戸市 人と防災未来センター
明石市 あかしこども広場ユーススペース

市民ネットワーク北海道
ホームページ



傍聴してみませんか↓
市議会第 4 回定例会
鶴谷・佐々木 一般質問
12 月 10 日 13 時～15 時 10 分



★築 40 年の家に移り住んで 6 年。最初の年は、どこにどんな花が咲くのかまったく予想がつかないミステリーガーデン。子どもたちと庭を楽しんできました。しかし木々はどんどん成長。「このままでは手におえなくなる」と、この秋は家族で木の剪定をして汗を流しました。北広島では剪定枝はチップ等にリサイクルされます。素敵ですね。